

夏休みに入ります

中学生の川柳に「親を見いゃ 僕の将来 知れたもの」とか、「十四年 父の無能を吹き込まれ ようやく分かった 母の愚かさ」という歌があるそうです。

また、高校の国語の先生が、生徒に「父よ！母よ！」という題で「一行詩」を書かせたところ、こんな作品が提出されたというのも見ました。

「父よ！言いたいことがあったらはっきり言え 母よ！言いたいことをそのまま言うなよ。」(男子生徒)「母よ！つべこべ言うけど、あんたの息子はええほうやで。」(男子生徒)

まったく、言いたい放題の感じです。私も親の一人。我が子が可愛くない親がありましようか。また、子のほうも、口や態度ではともかく、心の中で親を慕わない子がありましようか。やがて、社会に出て数々の体験をするうちに、この子たちも人の道が分かってくると信じています。

平成5年に福井県丸岡町主催で「日本一、短い母への手紙」というのを募集したところ、心の温まる多くの作品が寄せられ、隠れたベストセラーになりました。

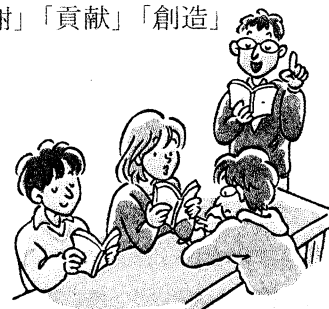
- ・あなたから もらったものは数多く、
返せるものはとても少ない。 (女性 21 歳)
- ・あなたを鬱陶しく思う時が、
私は幸せなのかもしれませんね。
明日、帰ります。 (女性 22 歳)
- ・おふくろ、死ぬなよ。
いいと言うまで死ぬなよ。
親孝行が全部終わるまで死ぬなよ。(男性 28 歳)

- ・おかあさん、
雪の降る夜に私を産んで下さってありがとう。
もうすぐ雪ですね。 (男性 51 歳)
- ・お母さん。
知らないうちにかぶってた
ゆうべのふとんありがとう。 (女性 43 歳)

3つの声があつてこそ、家庭は明るく健全と言えるということです。・・・話し声・笑い声・歌声です。会話があること。ゆとりとユーモアがあること。台所から聞こえてくるお母さんのハミングなど、やすらぎのある家庭の象徴ですね。(坂西輝雄著「今、こころの時代に」より)

明日から夏休みに入りますので、本日の終業式で、夏休みは「自律」「感謝」「貢献」「創造」のテストの場という話をしました。

- 1 自分でやると決めたことを計画的に実行してやり遂げる (自律)
- 2 自分を支えてくれている周りの方に感謝の気持ちを表現する (感謝)
- 3 地域の行事やボランティアなど、積極的に参加する (貢献)
- 4 持続可能な社会の創造に果敢に挑戦する (創造)



夏休みはたっぷり時間がありますので、自分のやりたいことが何でもできます。ご家庭でも話題にさせていただいて成長ある夏休みを過ごしていただけたらと思います。

~~~~~8月15日は終戦記念日です。過去の日本の歴史から、平和について考える機会としましょう。~~~~~